

平成26年度第3回横浜市市民活動推進ファンド
団体登録及び助成金交付審査・報告事項について

1 市民活動推進ファンド登録団体の選考について【審査】

横浜市市民活動推進ファンド団体登録要綱の申請要件に照らし、6団体について、市民活動運営支援事業部会が審査を行いました。※表1のとおり

2 市民活動推進ファンド助成金申請について【審査】

(1) 助成内容

平成26年度第3回に登録団体が行う市民公益活動に係る事業の経費について行いました。今回は、平成26年10月16日までに受領確認ができた寄附金を活用します。

(2) 審査

登録団体からの助成金交付申請内容について審査基準に基づき、市民活動運営支援事業部会が審査を行いました。

(3) 申請状況 12事業 14,840,000円

(4) 交付結果 11事業 14,540,000円

※表1のとおり

3 市民活動推進ファンド助成金申請の変更について【審査】

(1) 団体名

NPO法人 ミニシティ・プラス

(2) 経緯

当団体については、平成26年9月18日に申請された内容を基に、平成26年10月17日の市民活動運営支援事業部会にて、助成金交付の審査を行いました。その後、平成26年11月10日に、助成金交付申請内容の変更に関する申し出がありました。

(3) 変更理由

当初申請した、助成金交付申請事業の一部の日程が平成27年4月に変更となったことにより、助成金交付申請対象内容を今回の助成金交付申請対象期間である、平成27年3月までに行う事業についてのみに変更することとしました。

※別紙参照

(4) 助成金交付申請金額

① 変更前 640,000円

② 変更後 328,000円

(5) 助成金交付金額

328,000円

4 市民活動推進ファンド登録団体の抹消について【報告】

平成 26 年 7 月に法人の解散・清算終了を行った団体について、横浜市市民活動推進ファンド団体登録要綱の申請要件に照らし、登録団体から抹消します。※表 1 のとおり

5 平成 26 年度第 3 回横浜市市民協働推進委員会市民活動運営支援事業部会

(1) 開催日時

平成 26 年 10 月 17 日（金） 13 時 30 分～17 時 00 分

(2) 市民活動運営支援事業部会名簿（部会長を除き五十音順）

	氏名	所属等
部会長	名和田 是彦	法政大学 法学部 教授
専門委員	泉 一弘	特定非営利活動法人 ふらっとステーション・ドリーム理事長
専門委員	清水 靖枝	長屋門公園歴史体験ゾーン 事務局長
専門委員	堤 剛史	横浜信用金庫 融資部 企業経営支援チーム
推進委員	時任 和子	特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク理事長

平成26年度第3回横浜市市民活動推進ファンド登録団体

	団体名	主な分野	結果
1	沙羅の会カウンセリングハウス	保健・福祉・子ども	登録
2	よこはま地域福祉研究センター	保健・福祉・子ども、まちづくり・環境、文化・スポーツ、国際・人権・平和、経済・観光振興	登録
3	La vie saine 協会	保健・福祉・子ども、文化・スポーツ	登録
4	フェアスタートサポート	保健・福祉・子ども	登録
5	横浜スポーツアンドカルチャークラブ	保健・福祉・子ども、まちづくり・環境、文化・スポーツ	登録
6	フーズマイルぐりぐら	保健・福祉・子ども、まちづくり・環境、文化・スポーツ、国際・人権・平和、経済・観光振興	登録

平成26年度第3回横浜市市民活動推進ファンド登録抹消団体

	団体名	抹消理由
1	静坐インストラクタ協会	法人の解散(H26.7 解散・清算終了)

平成26年度第3回横浜市市民活動推進ファンド登録団体助成金

	団体名	団体概要等	事業名・事業内容等	申請金額	団体あて希望寄附金額 (平成26年10月16日現在)	交付金額
1	神奈川県環境学習リーダー会	地域の環境学習活動や環境保全活動に関する事業を行い、環境の保全に寄与することを目的としている団体です。	【第21回市民環境活動報告会】 神奈川県下で「3R活動」、「自然保護」、「省エネ」等の環境活動をしている団体や個人に活動報告の機会を与える事により、活動者のモチベーション向上と、市民の環境に対する意識の向上を図り、さらに交流の機会となるため、年に1回「市民環境活動報告会」を開催。 ①基調講演 ②口頭発表 ③口頭発表の内容を基にテーブルセッション(発表者と一般参加者) 開催日平成27年3月1日 場所:かながわ県民センター	70,000円	110,000円	70,000円
2	ハマトラ・横浜フットボールネットワーク	横浜市を中心とする地域市民のため、サッカーサポーターと地域コミュニティの連携をはかり、スポーツを通じた、地域コミュニティへの貢献と活力ある地域社会の実現を目的としている団体です。	【サッカー文化推進出版事業】 横浜市民を中心としたサッカーファン・サポーター向けのスタジアムフリーペーパー「ハマトラ」と、横浜市民向け街頭配付フリーペーパー「ウイマリ」を発行、配布する。 ①ハマトラ・・・制作部数4,000部/1回(予定) ②ウイマリ・・・制作部数15,000部/1回(予定)	70,000円	0円	70,000円
3	横浜こどものひろば	子どものためのすぐれた芸術・文化活動の振興を行い、地域において子どもたちの成長を図り、かつ子ども自身の社会参加の場として、子どもの文化的権利が保障される豊かな子ども時代の創造に寄与することを目的としている団体です。	【人間に出会う舞台芸術体験事業】 人形劇「火よう日のごちそうはひきがえる」人形劇団京芸 ①公演日時:平成26年12月20日(土) 14時～ 平成26年12月21日(日) 11時～、14時～ ②場所:岩間市民プラザ ③対象:幼児～小学校低学年とその親 約550名	450,000円	830,000円	450,000円

	団体名	団体概要等	事業名・事業内容等	申請金額	団体あて希望寄附金額 (平成26年10月16日現在)	交付金額
4	ルンビニー・わらべ園	幼児の教育を通してシュタイナー理念を実践することにより、子どもの健全育成及び社会教育の推進を図り、あわせて地域福祉の増進を図ることを目的としている団体です。	【講演会・勉強会運営事業】 ルドルフ・シュタイナーの理念に基づいた講演会・勉強会を実施。 ・幼児オイリュトミークラス、オイリュトミー講演：毎週水曜日 ・シュタイナー幼児教育に関する講演会、勉強会：平成27年2月～3月の週末を利用して実施 ・上記イベントの告知・宣伝：随時実施	130,000円	130,000円	130,000円
5	スマイルオブキッズ	闘病中の子どもたちの基本的な権利が尊重され、最善の医療を受け日々の生活の質を向上させることができるよう、本人および家族に精神的、物質的支援をする事業並びに小児医療に関わる法人、団体への支援事業を行うとともに闘病中の子どもたちの現状を広く社会に伝え、志のあるボランティアを育成することによって、広く社会全体の子育て環境の改善に寄与することを目的としている団体です。	【滞在事業施設運営】 いつでも安心して宿泊利用できる場所を提供することにより、患者家族の闘病生活に対する経済的・精神的負担を軽減すると共に、こども医療センターの職員と連携して、病気に立ち向かう環境と機会を一人でも多くの方々に提供する。 施設には、24時間ボランティアが交代で、宿泊者と建物の管理を行っている。 また、ホールを活用し、医療センターの外来を受診する患児の兄弟の保育を週5日行っている。	2,000,000円	4,540,490円	2,000,000円
6	あっちこっち	一般市民に対して、芸術を通じた社会貢献活動に関する事業を行い、文化・芸術の振興を図ることを目的としています。さらに、若手芸術家に対して、社会性を身につけることを目的とした人材育成を行い、若手芸術家の活躍できる場を増やし、社会活動について考え、将来の日本、世界へ発信できる人材を増やしていくことを目的としている団体です。	【子どものためのアート・音楽・ダンスをいっぺんに楽しむわくわくワークショップ】 子どもたちが美術、音楽、ダンスを体験するワークショップ。若手芸術家、地域の子ども・保護者、地域ボランティアが交流し、芸術作品の創作過程を一緒に楽しみながら体験する。 ①ボランティアへの事前講習：5回 ②リハーサル：平成26年12月22日 ③ワークショップ開催日：平成26年12月23日	70,000円	0円	70,000円
7	SUNファミリー	主に横浜市に在住の市民に対して、体育遊びを中心に様々な運動を通じたサークル活動や青少年の健全な育成に関する事業を行い、地域住民の運動に対する自発的な意欲を推進するとともに、心身の健康増進に寄与することを目的としている団体です。	【親子たいそう事業】 1歳～未就園児とその親を対象とした親子たいそう。リズムダンスや親子のからだ遊び、跳び箱・マット・平均台などを利用してジャンプ・よじ登る・走る・バランスなどの体験遊びを行う。	70,000円	0円	70,000円
8	ミニシティ・プラス	こどもや青少年が創造性や自主性を発揮しながら創るまちづくりの体験事業を通して、次世代の地域まちづくりを担う人材を育成していくとともに、広く市民へまちづくりの意義についてプロモーションを図ることにより、暮らしやすい持続可能な地域まちづくりを推進することを目的としている団体です。	※変更後の事業内容 【こどもが創るまち「ミニヨコハマシティ」開催のためのこどもまちづくり会議】 「ミニヨコハマシティ」は、子どもたちが、自分たちの理想のまちをつくるためのアイデアを出し合う事前会議を重ね、実際に「ミニヨコ」 という仮想のミニシティをつくり、運営するイベント。そのイベントを開催するためにこどもまちづくり会議を実施する。	640,000円 (→328,000円)	2,000,000円	640,000円 (→328,000円)
9	かながわスポーツボランティアバンク	関係各団体に対して、様々なスポーツ活動に関する事業の実施及び支援を行い、生涯スポーツ等の振興に寄与することを目的としている団体です。	【外で遊ぼう・作ろう・・・からだを動かす・ブンブンゴマ作りに挑戦】 主に子どもたちを対象に、高齢者の知恵を生かしたワークショップを開催。 ・体を動かす室内の遊び ・ブンブンゴマづくり ・竹笛づくり ・竹とんぼづくり	35,000円	35,000円	35,000円
10	スローレーベル	アーティストと障害者の協働により、商品開発、創造産業の支援を行い、市民の生きがいづくりに寄与することを目的としている団体です。	【SLOW JOURNAL 発行事業】 スローレーベルで行っている取組および、今年度開催する「ヨコハマ・パトリエンナーレ2014」の参加者インタビューやコラム等を冊子にまとめる。 平成27年1月発行予定。	300,000円	10,000円	0円

	団体名	団体概要等	事業名・事業内容等	申請金額	団体あて希望 寄附金額 (平成26年10月 16日現在)	交付金額
11	横浜移動サービス 協議会	「移動の権利は基本的人権の一つ」である と考え、移動支援に関わる団体・個人が連 携し、その活動形態の違いを活かし協働す ることにより移動困難な人に対して、1. 移 動の手段を確保できること2. 移動に関する 権利が社会的に保障されること上記の実現 に関する事業を行い、あらゆる人が自分ら しく生きること深く結びつく、移動の自由 に寄与することを目的としている団体です。	【チャレンジ・ド・コンサート】 移動支援サービスについての情報を、気軽に参加でき るコンサートにより、一般の方にも広く知ってもらえる場を 開く。 企画・運営・審査等々、高齢者・障がい者に限らず、何 かに挑戦しようとする人々を、障がい者自らも応援団と なって、高齢や障がいのために、おひとりでの外出が困 難な方と、支援活動者・市民が、交流を深め、相互理解 の促進につなげる。	505,000円	1,246,400円	505,000円
12	横浜シュタイナー学 園	幼児から青年期に至る子どもたちを対象 とする、ルドルフ・シュタイナーの教育理念 に基づく学園を運営し、さらにルドルフ・シュ タイナーの哲学および教育理念に基づいた 諸事業を行うことで、社会と地域に対し子 どもたちの健全育成をもって寄与することを目 的としている団体です。	【横浜シュタイナー学園運営事業】 霧が丘校舎(小1～小5)、十日市場校舎(小6～中3) を使用した、児童生徒への教育実践事業。 両校舎及び外部施設を利用した一般向けの公開講座 やイベント	10,500,000円	10,737,574円	10,500,000円
				14,840,000円 (→14,528,000円)	10,737,574円	14,540,000円 (→14,228,000円)

平成26年11月10日

(あて先) 横浜市 長

団体名 NPO法人ミニシティ・プラス

所在地 横浜市都筑区南山田2-1-2-306

代表者氏名 理事長 藤岡 律江

横浜市市民活動推進ファンド
登録団体助成金交付申請変更等申請書

平成26年9月18日に申請しました平成26年度横浜市市民活動推進ファンド登録団体助成金交付申請書について変更したいので、次の書類を添えて申請します。

【添付書類】

- 1 登録団体助成金交付申請書（第1号様式）（変更後）
- 2 事業計画書（第2号様式）（変更後）
- 3 事業収支予算書（第3号様式）（変更後）

申請の変更について

変更内容	こどもが創るまち「ミニヨコハマシティ」の本番日程が変更になったため、今回の応募期間は、こどもが創るまち「ミニヨコハマシティ開催のためのこどもまちづくり会議」までの申請とする。
変更理由	ミニヨコハマシティは、毎年3月にハウスクエア横浜で行われているが、今回は施設の都合で、4月3日～5日となった。年度をまたぐため、事業を分けて申請するため。

助成金交付申請額について

変更前の助成金交付申請額	変更後の助成金交付申請額
640,000 円	328,000 円

(第1号様式)

横浜市市民活動推進ファンド
登録団体助成金交付申請書

(あて先) 横浜市長

平成 26年 11月 10日

団体名	NPO 法人 ミニシティ・プラス
主たる 事務所の 所在地	〒224-0029 横浜市 都筑区 南山田2-1-2-306
代表者 氏名	理事長 藤岡律江

(代表者氏名)

平成26年度 横浜市市民活動推進ファンド 登録団体助成金の交付を受けたいので、次の書類を添えて申請します。

助成金交付申請額 328,000 円

【添付書類】

- 1 事業計画書 (第2号様式)
- 2 事業収支予算書 (第3号様式)

※下表から助成金交付申請事業の主な活動分野を選択し、番号を記入してください。

助成金交付申請事業の活動分野	1. 2
----------------	------

- 1 保健・福祉・子ども (保健・医療、福祉、子どもの健全育成)
- 2 まちづくり・環境 (まちづくり、環境、災害救援・地域安全、市民活動支援、農山漁村又は中山間地域振興)
- 3 文化・スポーツ (生涯学習・社会教育、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、科学技術)
- 4 国際・人権・平和 (国際交流・国際協力、人権・平和、男女共同参画)
- 5 経済・観光振興 (情報化社会、経済活動・消費者の保護、職業能力開発・雇用機会拡充、観光振興)

※ この書類は、横浜市市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなればなりません。

事業計画書

事業名	こどもが創るまち「ミニヨコハマシティ」開催のためのこどもまちづくり会議
趣旨・目的	19歳以下のこどもがつくるまち「ミニヨコハマシティ」は、こどもたちが楽しみながらまちをつくり、社会体験をすることで、生きる力を身に付けることを目的とするイベント。そのイベントを準備するのが、こどもまちづくり会議である。
事業内容	<p>子どもたち（19歳以下のひとりで参加できるこども・青少年を指す）が、自分たちの理想のまちをつくるためのアイデアを出し合う事前会議を重ね、実際に数日間の「ミニヨコ」という仮想のミニシティをつくり、運営するプロジェクト。当日参加するこどもたちは、まちの公共施設やお店でアルバイトをすると、「ミニヨン」というこどものまちの通貨がもらえ、まちの中で遊んだり、食べ物を買ったりできる。市長を決める選挙もあり、こどもたちが主体的に行う「大人口出し禁止」のまちで、まちを運営することで、社会体験、職業体験、選挙体験など、子どもの社会性、自主性を高める事ができるイベントプログラム。2007年以来毎年実施し、今回で8回目の開催となる。昨年からは、被災地のこどもたちとの交流や全国に40くらいある、各こどものまちとのネットワークも深めてきた。</p> <p>まさにこどもが主体のイベントになるが、対象が子どもたちのため参加費を抑えなければならず、協賛や寄附に頼りながら運営している。</p>
事業実施地域	横浜地域
事業の対象者	事前公募で集まっているミニヨコ運営市民（準備段階から参加） 30名～50名程度
事業実施スケジュール	12月 運営市民公募 準備会議キックオフ 1月～3月 こどもまちづくり会議・研修等開催、一般参加者募集
期待される効果	小さな子ども～19歳までのこどもたちが話し合いながらまちをつくっていくことで、社会の中での合意形成について体験し、学ぶ。子どものまちのリーダーを決める選挙にかかわることで、民主主義と選挙の大切さを体感できる。こどものころから、遊びの中でまちづくりを体験し、まちへの関心を持つことで、将来まちのことを考えられる大人、まちづくりの担い手を育てる。
事業の形態	この事業に該当する方に○をつけてください （ 単発事業 <input checked="" type="radio"/> 継続事業 ） （ 初めて実施 過去に実施したことがある <input checked="" type="radio"/> 毎年実施している ）

貴団体の理事、監事又は社員の中に横浜市市民協働推進委員会委員又は横浜市市民活動運営支援事業部会委員はいますか？ はい（委員名： 三輪（藤岡）律江 ） ・ いいえ

※ この書類は、横浜市市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなければなりません。

(第3号様式)

事業収支予算書

【収入】

(単位：円)

項目	金額	説明
団体負担(会費・寄附等)	15,000	
参加費・資料代等	15,000	運営市民参加費@500円×30人
助成金	市民活動推進ファンド登録団体助成金	328,000
	その他の助成金	
合計	358,000	

【支出】

項目	金額	説明(使途、積算根拠等)
運営人件費	★ 200,000	運営事務 @50,000×4ヶ月
運営会議人件費	★ 48,000	スタッフ2人×3日間@8000
広報費	★ 100,000	チラシ印刷@5円×20,000枚
郵便通信費	10,000	チラシ送料
合計	358,000	

* 申請する事業の収支予算を記入してください。

* 横浜市市民活動推進ファンド登録団体助成金の対象経費とする予定の支出項目については、項目名の右欄に★印を付けてください。

助成金申請額を減額して助成金の交付決定をした場合、当該事業の実施は可能ですか？

(はい) いいえ) ←いずれかに○

※ この書類は、横浜市市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなければなりません。

(第1号様式)

横浜市市民活動推進ファンド
登録団体助成金交付申請書

(あて先) 横浜市長

平成 26年 9月 18日

団体名	NPO 法人 ミニシティ・プラス
主たる 事務所の 所在地	〒224-0029 横浜市 都筑区 南山田2-1-2-306
代表者 氏名	理事長 藤岡律江

(代表者氏名)

平成26年度 横浜市市民活動推進ファンド 登録団体助成金の交付を受けたいので、次の書類を添えて申請します。

助成金交付申請額 640,000 円

【添付書類】

- 1 事業計画書 (第2号様式)
- 2 事業収支予算書 (第3号様式)

※下表から助成金交付申請事業の主な活動分野を選択し、番号を記入してください。

助成金交付申請事業の活動分野	1. 2
----------------	------

- 1 保健・福祉・子ども (保健・医療、福祉、子どもの健全育成)
- 2 まちづくり・環境 (まちづくり、環境、災害救援・地域安全、市民活動支援、農山漁村又は中山間地域振興)
- 3 文化・スポーツ (生涯学習・社会教育、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、科学技術)
- 4 国際・人権・平和 (国際交流・国際協力、人権・平和、男女共同参画)
- 5 経済・観光振興 (情報化社会、経済活動・消費者の保護、職業能力開発・雇用機会拡充、観光振興)

※ この書類は、横浜市市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなればなりません。

(第2号様式)

事業計画書

事業名	こどもが創るまち「ミニヨコハマシティ」
趣旨・目的	19歳以下のこどもがつくるまち「ミニヨコハマシティ」は、こどもたちが楽しみながらまちをつくり、社会体験をすることで、生きる力を身に付けることを目的とするイベント。
事業内容	<p>子どもたち（19歳以下のひとりで参加できるこども・青少年を指す）が、自分たちの理想のまちをつくるためのアイデアを出し合う事前会議を重ね、実際に数日間の「ミニヨコ」という仮想のミニシティをつくり、運営するプロジェクト。当日参加するこどもたちは、まちの公共施設やお店でアルバイトをすると、「ミニヨン」というこどものまちの通貨がもらえ、まちの中で遊んだり、食べ物を買ったりできる。市長を決める選挙もあり、こどもたちが主体的に行う「大人口出し禁止」のまちで、まちを運営することで、社会体験、職業体験、選挙体験など、子どもの社会性、自主性を高める事ができるイベントプログラム。2007年以来毎年実施し、今回で8回目の開催となる。昨年から、被災地のこどもたちとの交流や全国に40くらいある、各こどものまちとのネットワークも深めてきた。</p> <p>まさにこどもが主体のイベントになるが、対象が子どもたちのため参加費を抑えなければならず、協賛や寄附に頼りながら運営している。</p>
事業実施地域	事前会議・研修等を含め、横浜市域 (イベント実施の場所は横浜市都筑区)
事業の対象者	事前公募で集まっているミニヨコ運営市民（準備段階から参加）と、一般募集で当日まちにやってくる19歳以下のこどもたち、期間中述べ1000人程度。
事業実施スケジュール	12月 運営市民公募 準備会議キックオフ 1月～2月 こどもまちづくり会議・研修等開催、一般参加者募集 3月27日～29日（予定）「ミニヨコハマシティ」イベント開催。
期待される効果	小さな子ども～19歳までのこどもたちが話し合いながらまちをつくっていくことで、社会の中での合意形成について体験し、学ぶ。子どものまちのリーダーを決める選挙にかかわることで、民主主義と選挙の大切さを体感できる。こどものころから、遊びの中でまちづくりを体験し、まちへの関心を持つことで、将来まちのことを考えられる大人、まちづくりの担い手を育てる。
事業の形態	この事業に該当する方に○をつけてください (単発事業 <u>継続事業</u>) (初めて実施 過去に実施したことがある <u>毎年実施している</u>)

貴団体の理事、監事又は社員の中に横浜市市民協働推進委員会委員又は横浜市市民活動運営支援事業部会委員はいますか？ はい (委員名： 三輪(藤岡)律江) ・ いいえ

※ この書類は、横浜市市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなればなりません。

(第3号様式)

事業収支予算書

【収入】

(単位：円)

項目	金額	説明
団体負担(会費・寄附等)	22,700	
参加費・資料代等	250,000	入場料@500円×500人
助成金	市民活動推進ファンド登録団体助成金	640,000
	その他の助成金	
合計	912,700	

【支出】

項目	金額	説明(使途、積算根拠等)
運営人件費	★ 200,000	運営事務 @50,000×4ヶ月
イベント開催時人件費	★ 168,000	スタッフ7人×3日間@8000
イベント開催材料費	★ 300,000	一式
広報費	★ 100,000	チラシ印刷@5円×20,000枚
郵便通信費	★ 10,000	チラシ送料
イベント開催賄い費	14,700	21人(スタッフ、ボランティア)@700
イベント保険費用	★ 20,000	イベント保険
イベント機材レンタル費	★ 50,000	テント、音響等
防災イベントコンサルタント1式	★ 50,000	こどものまちの防災イベント講師代等
合計	912,700	

* 申請する事業の収支予算を記入してください。

* 横浜市市民活動推進ファンド登録団体助成金の対象経費とする予定の支出項目については、項目名の右欄に★印を付けてください。

助成金申請額を減額して助成金の交付決定をした場合、当該事業の実施は可能ですか？

(はい いいえ) ←いずれかに○

※ この書類は、横浜市市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなればなりません。